

令和4年3月17日 6年生修了式

いよいよ明日は卒業式です。明日は改めて話をさせていただきますが、今日は私のある教え子の話をさせていただきます。

ある中学校で3年生の担任をしていた時のことですが、私は理科が専門なのですが、理科の授業の中で、「今学習していることが、将来の皆さんの生活には必ず役立つと思って学んでいきましょう。」と話をしながら、授業をしていました。教え子の中で、理科の授業をとっても好きになってくれた子がいて、「わたしは将来、皆が健康になるような食品開発をできるような仕事につきたい」と夢を語ってくれた子がいました。私は「すばらしい夢だね。がんばってね。」と応援しながら、その子が夢をかなえるためにはどんな学校へ行ったらよいのかを一緒に考えていました。とても努力家の子だったので、きっと希望の学校へ進んで、夢をかなえてくれると信じて応援していました。ところが、その子が高校の受験をしたときに、希望する学校に合格できない、二番目に希望していた学校にも合格できない、という信じられないことが起きてしまいました。その子は、三番目に希望していた学校へ行ったのですが、本当に落ち込んでしまって、卒業してからも顔をだすことなく、自信をなくしてしまったという話を他の子から聞いていました。私も、その子がどうしているのかな、何とか元気を取り戻してほしいなと思いながら過ごしていました。

それから3年後、その子が、見事、自分の夢をかなえるための大学に合格したという知らせを受けました。その子は3年間、一度は落ち込みながらも、見事に気持ちを切り替え、そこでできる努力を続け、自分の夢をかなえるための第一歩を勝ち取ることができたのです。ちなみにその子は大学を卒業し、自分の夢をかなえるための仕事につくことができ、活躍をしています。

「石の上にも三年」ということわざがあります。中学校も3年間です。うまくいかなくても地道に努力を積み重ねるということを大切にしてほしいと思います。